



## 長野県総合型クラブ連絡協議会

### ～総合型クラブの定着・発展促進に向けて～

## 1 | 概要

- 年会費(加盟費) …………… なし
- 事業内容(平成26年度) …… ①総会の開催(5月・2月)  
②研修会の開催(10月)  
③県連絡協議会理事会の開催  
④県下4地区連絡協議会(ネットワークアクション)の開催
- 加盟クラブ数…………… 64クラブ(県内64クラブ) ※平成27年4月現在

## 2 | 設立経緯

平成21年2月に日本体育協会の組織内組織として総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が設立され、各県に連絡協議会の設置が求められたことから、長野県でも県内クラブ協議会の組織化に向けて協議を開始し、平成21年6月16日、行政主導で長野県総合型クラブ連絡協議会が設立されました。

本県連絡協議会は、長野県で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、総合型クラブ間の連携・協力体制を整備するとともに、円滑な運営に資する情報の共有化等により、クラブの運営能力を高め、もっと生涯スポーツ社会の実現に寄与することを目的としていて、現在、64クラブ(平成27年4月現在)が加入しています。

## 3 | 具体的な取り組み ※平成26年度

- 連絡協議会…………… ・前年度の事業報告と事業計画  
・県連絡協議会のあり方について など
- 研修会…………… [対象者] クラブ代表者、クラブマネージャー、事務局員等  
[内 容]
  - ①講演(全国的な動向や他県の実践に学ぶ)
    - ・「安定したクラブ運営に向けて」  
講師：新潟医療福祉大学 教授 西原康行氏
    - ・「石川県総合型クラブの現状と課題」  
講師：NPO法人クラブパレットゼネラルマネージャー 榎 敏弘氏
  - ②事例発表(長野県内総合型クラブの取り組みに学ぶ)
    - ・「クラブ運営はスポーツ環境づくりから」
    - ・「地域おこしと総合型クラブ」
  - ③研修報告(日本体育協会クラブマネジメント指導者海外研修に学ぶ)

・「クラブマネジメント指導者海外研修事業報告」

④グループ別討議(4グループに分かれて、一人一人の発言に学ぶ)

・「総合型クラブの継続のヒント」



## 4 | 今後の展望

大きく分けて2つの課題を解決していきたいと考えています。

まずは、「エリアミーティングの充実」です。本県は、南北にエリアが広く、これまでも距離的に近いクラブの交流を行ってきています。この活動をさらに活発にしていくための環境整備として、県連絡協議会の下でのエリアミーティングのあり方について検討するとともに、各エリアの課題等を吸い上げ、県連絡協議会として解決に向かっていくといった体制の確立も進めていこうとしているところです。

次に、「自主財源の確保」です。平成26年度末現在、県連絡協議会の活動資金はすべて助成金や補助金によるものであり、独自の財源がない状況です。県連絡協議会加盟のための会費設定も未実施となっています。財政的自立を進めると同時に、組織的自立へも進んでいきたいと考えています。現在の本県連絡協議会は、広域スポーツセンター並びに県体育協会とも良い関係で連携した事業を実施しています。行政と一体となって協力関係を維持しながら、県連絡協議会が自立することの意義や目的などを検討していこうとしているところです。

## 5 | 連絡先

長野県総合型クラブ連絡協議会

〒390-1131 長野県松本市大字今井3443 長野県広域スポーツセンター(長野県体育センター)内

TEL : 0263-86-0218 FAX : 0263-86-0204

E-mail : taiikucenter@pref.nagano.lg.jp